



内田 圭子 議員

質問

産後ケアに柔軟な支援を

町長

きめ細やかな支援に努める



産後の母子

質問 産前産後ケアをより手厚くし、子育ての場として選ばれる町を目指したいと考える。ライフスタイルに応じて選べる柔軟な体制についての見解は。

町長 従来本町で実施の産後ケアは大変好評だ。更なる休息やリフレッシュを求める声を受け、新たに温泉施設を活用した産後ケアをスタート。助産師を中心に、

心身の回復や特別感による育児の活力につながることを期待している。

再質問 出生数の減少で、同じ境遇の方と出会う機会が減っている。産後ケアに限らず、横のつながりや交流の場づくりを町として進めてはどうか。また利用のしやすさ等PRする工夫は。

町長 非常に大切なこと。既存の施策も活用しながらそれぞれの目的に応じて利用できるよう、進めていきたい。

質問 乳腺炎等急な体調不良時にも、育児は休めない。今の困り事に対応できる体制づくりについて、母乳外来の現状と課題は。

町長 奥出雲病院では月曜に乳腺炎対応、助産師外来で授乳相談も実施。今年度からこども家庭支援課に常勤助産師を配置し、相談や訪問支援に対応。今後は医療機関や民間助産院と連携を図り、安心確保の検討をしていく。

中学校の屋内運動場空調整備について

質問 横田および仁多小学校体育館には空調設備が整備されている。中学校体育館の空調整備状況と今後の計画は。

教育魅力課長 中学校の体育館は現時点で空調設備がなく、整備の年次計画も未定であるが、懸案事項として認識している。

町長 両中学校は建築後50年以上が経過し、老朽化が進んでいる。空調設備の大規模改修か改築かの判断は難しく、周囲の状況を見ながら方針を見出したいが、現時点での確約はできない。

その他の質問

業縁結びサポート事



仁多中学校屋内運動場